夕刊
磐城日報
平市白銀町十一　發行所　磐城日報社
電話(呼)一〇三八番
編集發行人　後藤幸夫
印刷人　丸山德平
毎週水曜日休刊　購讀料
一ケ月三十円　一部一円

創刊の辭

一黨に偏せず、一派に組せず、飽迄正義のもとに新聞紙本來の使命達成へ邁進したいのが、われ〳〵の念願である、と共に、わが社の立社の精神でもある。新聞の經營はもと〳〵容易な業ではない。

殊に嚴正中立を名乘る地方紙に於ては、その感が一層甚だしいものがあるといへよう。例へば小額な廣告料と購讀料のみにて健全な經營は頗るむつかしい、故に經營の合理化を强行する爲には金のなる木の一黨或は一派の御用紙と化せざるを得ないのである、またこれが地方紙經營の常道でもあつた。だが吾社に於ては、經營の方針を全從業員の合議制による、民主的運營にゆだねているため、いかなる苦難も克服出來決して先輩紙の歩んだテツは踏まぬ覺悟、そこにわが社としての面目が充分あるのである、〃五分の虫にも三分の魂〃紙面はいかにせまくとも持つ魂は大新聞には劣らぬつもりだ、郷土民の爲の新聞、として茲に誕生した以上全從業員は必ずやその期待に副ふべく決死の努力を拂ふ事にやぶさかではない、小さいものを大く育て上るため今後共絶大なる御指導と御援助の程を發刊に際し御願いする次第である

十二月一日

磐城日報社

初の農藝祭

平市並に石城郡町村長會、郡農業關係團体共催で來る十六、七、八の三日間初の農藝祭を開催するがこの農藝祭は一般の人々に農業智識の普及をはかるためで約百萬円の費用を投じ農産館(平商業、平高工校)農業改良館(平工)同加工館(地方事務所二階)美術館(公會堂日本間)を設けるの外藝能コンクール大會(平第三校)も開く

縣會議長は
蓮沼副議長の昇格

参議院補欠選擧に石原知事選擧に大竹縣會議長の出馬(ホドんど確定)それに伴ふ後任議長の推薦とこのところ本縣政界は師走を迎へて一層のアワタダしさを見せているが議長モン題に就ては大体に於て副議長である蓮沼龍輔氏の昇格に落つく模様で社會黨その他の派に於ても異議はないものと傳へられている、假りに蓮沼議長が實現すれば石城の政界では縣會始まつて以來最初に議長のイスを獲得する事になる譯で今後同氏に對する期待は頗る大きい

大竹氏辭さば

されていないので專賣公社平出張所では一月以降に再び配給が復活して各家庭がまた〳〵不足を來しては切角の好意がなにもならないから今月中にできるだけ多く購入漬物用としてたくわいられるよう各家庭へ要望一方小賣所に對しても協力を求めた

塩の購入は

できるだけ多く

連合軍の好意で塩も十二月中は統制のワクが外れて自由販賣、しかし一月以降はどうなるかこれは全く保證

○○○○○賀川氏講演

日本キリスト教團東北教區主催で今一日午后六時半から平市公會堂日本間で賀川豊彦氏の講演會を開く

石城柔道協會誕生

市議高木喬氏等が中心になつて石城柔道協會を設立する事になり來る五日頃委員會を開いて規約並に會長以下の役員を決定するなお道場は武德殿が解放されるとこ

御願い

目下工場の整備に當つておりますので創刊から極めて不体裁な紙面を發行致しましたが今しばらくおゆるしの程を願ます尙一兩日中に營業部員が御伺ひ致します故御購讀の御契約下さいます樣改めて御願いします

磐城日報社
營業部

◇雨十風五◇

總工費千二百六拾五萬円を投じて竣工した、平市役所廳舍は戰後に出來たこの種の廳舍としては正に東北一、去年これが豫算をカクトクしてたからどうやら出來たものの、もし一年おくれて〃來年でも建設しよう〃なんでいたら、一寸出來ない藝當だつた、立案者の鈴木老市長も偉いのだが、意義なく協賛してくれた市議諸氏にも軍扇はあげてやりたい、平市の將來は益々多事だ、隣村合併にしろ、戰災復興道路問題にしろ、大事業完成の上に禍根は殘したくない、萬事市廳舍建設のように円滿に運びたいもの、これは記者から賢明なる市議の皆さんに特にお願いするところ

★祝創刊★

代議士　關内正一
縣會議員
縣會副議長　蓮沼龍輔
縣會議員　馬目武之助
平市會議員一同
平市役所
市長　鈴木辰三郎
助役　阿部治英
收入役　根本益利
石城町村長會
諸橋合名會社
諸橋久太郎
平市商工會議所
會頭　諸橋久太郎
專務理事　伊藤秀吉
平市銀行團
富士銀行平支店
常陽銀行平支店
日本勸業銀行平支店
七十七銀行平支店
東邦銀行平支店
(イロハ順)

南部幹線道路

―いよ〳〵工事再開―

平市の

平市の新川以南地區開發の一つとして昨年着手された月見町のガス會社脇より商、工兩高校前を經で内郷町小島地内に通ずる市員三間の新設道路は平戰災復興事務所で行はれ豫算關係で本年は中止になつていたがいよ〳〵來る一月早々失業救濟事業として再び工事にかゝり三月末迄に月見町を結ぶ線迄を完成する

この工事完成によつて片濱方面から内郷、湯本方面に行く輸送機關は市内本通りに出る事なくガス會社南脇から新市役所廳舎の前を通つて長橋へ出る事が出來るので相當便利になる

支團よ

どこへ行く？

精算事務取扱も早晩終つて殘るはただ建物だけになる例の配炭公團常磐支團も今は僅か三十余名の職員が居殘つてるだけだが、さて職員がいなくなつた後の建物を大藏省がどう處分するかこれは面白い問題として種々取沙汰されている

現在公團廳舎を希望しているのに平保健所、勞働基準監督署、職業安定所、税務署がありまた民間側にも〻少し位は高値でも〻と數名の希望者があつて相當の引張タコという有樣

一部には同じ大藏省の建物だから公團には税務署が引越し税務署のあとは平市が拂下げで消防署と警防團が引越した方がよいなどという意見もあるがいづれにしてもどう落つくか見ものである

電通管理所

いよ〳〵埋立開始

平市役所廳舎前に敷地を選定した平電氣通信管理所は市内丸茂土建會社の手によつて建設される事になりいよ〳〵一兩日中に埋立に着手するが今月末迄に埋立を終つて明春早々建築にとりかゝり年度内に設立の豫定

湯本婦人會

十八日結成大會

湯本町婦人會創立準備委員會は去る二十八日午後一時全町役場會議室で委員六十名出席の上開催滿場一致で會則並に會長樋口リウ氏外役員を決定來る十八日結成大會を開く事になつた

小名濱町首長選擧

後任町長

選擧は明春早く執行されるが現在出馬を噂されている人々は

助役長瀬国三郎、町會議長菅原勳、元漁業會長水野政次郎、元代議士齋藤晃、縣議小野義一の各氏でそのうち水野、齋藤氏らが最も有力視されている

◎◎配給たより◎◎

（平市）放出綿布の一部が入荷したので一人〇、八ヤールを一般に配給する

◇天聲◇

といふ投書

欄を開設いたしました建設的な御意見から不平や不滿等を本社天聲係宛どし〳〵御投稿下さい原稿は十二字詰三十行以内、紙上トク名はさしつかいありませんが原稿にはなるべく本名を記入して下さい

―（係）―

〇〇〇〇〇

三門博來る

浪界に異彩を放つ觀音經の「三門博」一行が九日午後五時から風戸興行社主催で平市で開演する

窃盗現行犯

石城郡方から反物一反時價千七百圓を窃取逃走せんとした現山田村上山田大昭炭礦礦夫小林政雄（二七）は三十日午後九時三十分頃湯本町天王場を同町署員に發見され現崎石屋洋服店（石清美さん）行犯で檢擧された

募集

一、營業部員　二名

一、編集部員　二名

（中卒程度二十五歳以上なるべく平市内在住）

右募集します希望者は午前中來社下さい

平市白銀町十一　磐城日報社

祝創刊

三井百貨店の

謝恩福引大賣出し

十二月三日より七日間

思ひきつた安値品絶好の御買時

金百圓毎に福引券呈上

一等現金一萬円以下六等迄空籤なし

平市新川町一四　平青果物荷受組合　電話六九六番　理事長　國井美

平市正月町十九　株式會社　スピイデー自動車商會　電話四九〇三七〇番

平市月見町二三番地　平陽商會　電話（平）一〇七二番

平市鐵工業會　會長　佐藤源吉

平市白銀町九番地　福島縣石炭販賣株式會社　電話八八三番

平市五町目二十一番地　平製氷株式會社　電話六三四番　社長　伊藤東一

平市鍛冶町二十七　有限會社　平製パン　代表社員　羽田武雄　電話二十一番

印刷物は……丸山印刷所へ

株式會社　常磐ヤンマー製作所　平市二町目　電話二五番